

第1回 奈良市児童相談所等のあり方検討会議の意見の概要

開催日時	平成30年 2月14日(水) 午後 2時から 4時 まで
開催場所	奈良市役所 北棟 5階 第20会議室
意見等を求める内容等	<ul style="list-style-type: none">・奈良市児童相談所設置について・県との協議と職員派遣研修について
参加者	出席者 5人 ・ 事務局 15人
開催形態	公開 (傍聴人 5人)
担当課	子ども未来部 子育て相談課 児童相談所設置準備室
意見等の内容の取り纏め	
<p>事務局による概要説明の後、委員に意見等を求めた。</p> <p>《意見を求めた内容及びそれらに対する意見等》</p> <p>1 奈良市児童相談所の設置について</p> <ul style="list-style-type: none">・支援から介入、介入から支援の一連の流れを同じ行政機関で行うことになるので、そのすみ分けを検討していかなければいけない。・奈良市の人口規模だから出来る介入後の支援を考えていく必要がある。・現在の児童相談所は、専門性の高い支援の力が低下してきている。それは職員が多忙すぎることも原因。1人あたりの担当ケース数は、海外の例と比較しても非常に多い。これでは良い仕事は出来ないし、職員の心身状態は悪くなる。・早期に支援につなげるためにも、コミュニティの運営(学校や警察との連携)を積極的に担っていくのが、市の役割として大切である。・社会的養育の入り口である一時保護は、児童によっては継続して学校に通えるようにするためにも、学区内で一時保護委託できる環境を整えることも大切である。・子どもの権利・自由と、子どもの安全のバランスが大切である。・専門職の雇用を安定的に行い、治療的な家庭支援も行える、現在の児童相談所の機能以上のものをつくっていったら良いのではないか。・これからは、専門職を雇用し、支援に特に注力するべきである。治療的な機関として、心理療法や家庭支援を行える、また些細な養護相談にも気軽にのれる、独立した新しい児童相談所が必要である。 <p>2 県との協議と職員派遣研修について</p> <ul style="list-style-type: none">・児童相談所はチームとして動くので、その中でのベテランの役割や、所長の手腕が重要。そういった経験のある人を採用していくことも大切である。	

- ・児童相談所ごとに様々な流儀があり、振れ幅もあるので、バリエーションに富んだ児童相談所に視察・研修に行くのも良いのではないかと。同じ奈良県の中でも、中央こども家庭相談センターと高田こども家庭相談センターでは異なる部分もあると思うので、両方に研修に行き学ぶことも良い。
- ・児童相談所の職員には、対人交渉できる人・調整能力の高い人が向いている。